

### ■ 第11回総会開催のご案内

東京インテリアプランナー協会

会員各位

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、標記第11回通常総会を下記の通り開催いたします。ご多用とは存じますがお繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

当日は総会に引き続き、記念講演、懇親交流会を行いますので、正会員の皆様は勿論のこと正会員以外の方もお誘いいただき、ご出席下さいますようお願い申し上げます。ご都合により欠席される場合は委任状をお願いいたします。

◇ 東京インテリアプランナー協会 第11回通常総会

日時：平成17年5月20日(金)16時30分～17時50分(受付;16時00分)  
場所：文化シャッターBXビル、2F 文京区西片1-17-3

< 議案 >

- ・ 第1号議案  
平成16年度活動報告に関する件
- ・ 第2号議案  
平成16年度収支決算報告に関する件
- ・ 第3号議案  
監査報告に関する件
- ・ 第4号議案  
平成17年度活動計画(案)に関する件
- 案5号議案

平成17年度活動予算(案)に関する件  
・ その他の議案  
会則改定(案)に関する件  
名誉会員(案)に関する件

記念講演会 18時00分～19時00分  
テーマ：「インテリアからコスメティックまで」

講演：GAENAEL NICOLAS グエナエルニコラ氏

◇ 懇親交流会 19時20分～20時40分

◇ 会費 6,000円(当日会場受付にてお支払ください)

東京インテリアプランナー協会  
会長 中川 誠一

### ■ イベント情報 I

『 オーデリック新製品発表会のご案内 』

このたび、新カタログ LIGHTING 2005 - 2006 の発刊を機に、弊社の新製品をご紹介させていただく「NEW LIGHTING FAIR 2005」を開催することとなりました。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

東京会場：オーデリック株式会社 本社  
東京ショールーム  
(杉並区宮前1-17-5)

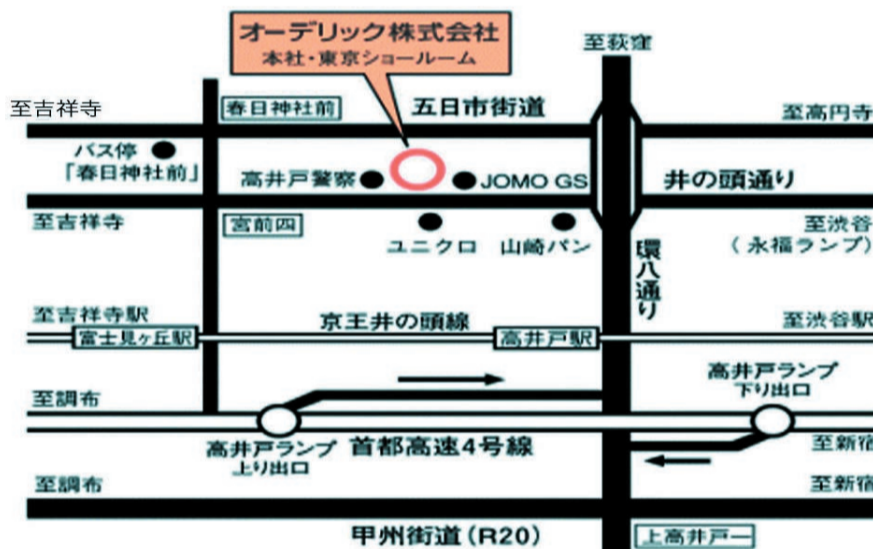
JR荻窪駅及び井の頭線高井戸駅から送迎バスを運行

開催日：平成17年6月7日(火)～6月10日(金)

午前10時00分～午後5時00分(最終日は午後4時30分まで)

セミナー同時開催

柳原知也氏：「CG技術を駆使した住空間における照明シミュレーションの実際」



堀江芳美氏：「協働作業の建築」  
伊藤朱子氏：「人がいきる空間をデザインすると」  
詳しいお問い合わせ及びご案内状希望の方は右記まで連絡をお願いします。

オーデリック株式会社  
特販第1営業部 岩谷宏道  
TEL 03-3332-1244  
FAX 03-3332-3109  
E-mail [hiwaya@odelic.co.jp](mailto:hiwaya@odelic.co.jp)

### ■ イベント情報 II

『 AD CORE20周年記念展示とワン・ナイト・パーティのご案内 』

◇ 6月6日(月)18:00～21:00

東京国立博物館でAD COREブランド発足20周年を記念して、歴代の製品を一同に展示。あわせて「neo classico」の新モデルも発表展示します。

2001年に要文化財に指定された、国立博物館本館で、日本美術の国宝を間近に見ながらのスペシャルなパーティに、ぜひご参加下さい。記念のお土産には、スワロフスキー社がAD COREのために、特別に製作したクリスタルのアクセサリをご用意しております。ご招待のお客様だけをお招きしてのパーティですので、各営業担当者より、詳しいご案内をさせていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。<http://www.adcore.co.jp>

◆ 第3回ミラノ・サローネ報告会の開催のご案内

◇ 東京：6月6日(月)東京国立博物館 平成館・大講堂 /16:00から17:30

◇ 大阪：6月10日(金)AD CORE心斎橋・ショールーム /16:00から17:30

◇ 名古屋：6月17日(金)AD CORE名古屋新ショールーム /16:00から17:30

名古屋は、6月17日にプレ・オープンする待望の新ショールームで開催。各会場では、サローネの報告会とNEOCLASSICOの新作も発表展示パーティ(18:00～)を開催しますので、ぜひ、お問い合わせの上、ご来場をお待ちして

おります。

◇ 名古屋・丸の内ショールーム(6月20日オープン)

〒460-0002

名古屋市中区丸の内2-6-1

電話：052-990-8880/FAX:052-205-6776

エーディコア・ディバイズ 企画開発・広報 樋口哲雄

〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-13-2

電話 03-5778-3341(代表)

直通 03-5778-3380 FAX03-5778-3390

mobile090-6922-1202

# AD CORE



■ 第21回賛助会員インフォメーションの会 会合録

会名：第21回賛助会員インフォメーションの会

テーマ：—コントラクトプロジェクトと特注家具—

開催日時：2005年4月13日（水曜日）16：00～20：00

開催場所：和牛焼肉店「Ginseng」

パネラー：金信彦氏（株式会社トラジ、代表取締役）

橋本夕紀夫氏（橋本夕紀夫デザインスタジオ）

佐藤岳利氏（株式会社ワイス・ワイス、代表取締役）

参加者数：53名（正会員19名、準会員2名、賛助会員30名、ビジター2名）

◇ 会合録

会員の皆様に賛助会員企業をより良く理解していただき、パートナーとしての付き合いを目的とする、賛助会員インフォメーションの会、第21回が開催されました。発表企業はライフスタイルブランド「ワイス・ワイス」、テーマは「コントラクトプロジェクトと特注家具」、会場は和牛焼肉店「Ginseng」で行われました。特別ゲストとして、株式会社トラジ代表取締役の金信彦氏、内装設計を担当されたインテリアデザイナー橋本夕紀夫氏をお迎えし、同店舗オリジナル家具の設計・製作を担当したワイス・ワイスが、プロジェクトのプロセスや取り組みを具体的に解説、説明

しました。

◇ 株式会社トラジ 代表取締役 金信彦氏のお話

“Ginseng “は焼肉の特別な高級レストランをテーマにしている。モダンで、洗練された大人な雰囲気大切に、高級感に溢れながらも、その空間を様々な人々に楽しんで頂けるようなレストランを目指している。“Ginseng”の内装は橋本夕紀夫氏に依頼、ダイナミックさと居心地のいい高級感を持ち合わせた“ホテルのラウンジ”をテーマに構成した。牛肉はもちろん、その他素材、盛り付けに至るまで細部にこだわり、その素材の持つ旨みを一番よい状態で提供し、食して頂くことを心がけている。韓国料理の根源に基づき“食をもって薬とす”という言葉が伝わってくるよう、その素材を生かした調理法、組み合わせで、薬膳的要素を十分に取入れた内容構成にしている。ドリンクも、ワインセラーを設置し、飛牛クラスのお肉にもあう力強いワインを取り揃え、牛肉に対して更なる食の楽しみ方を提案していけると考えている。

◇ 橋本夕紀夫氏 講演内容の要点

1) 自分はインテリアデザイナーという名の「まとめ役」家具・照明から現場の工事業者までプロジェクトに関わる各分野のエキスパート達のまとめ役である。手掛ける仕事（デザイン）

は協力関係者（パートナー）とのコラボレーションである

- 2) 打合せはリラックスした雰囲気の中で友人同士の談笑をしているようなリラックスした雰囲気のなかで打合せをする。「気の合う仲間と美味しいものを食べたり、飲んだり」そんな時にこそアイデアは生まれる
- 3) いったんアイデアを思いつくと（考えがまとまると）一気に仕様を決める。短い時間の中での仕事も多く、アイデアを思いつくと短時間で仕様を決めることが多い。そのため自分の感覚（求めているもの）をわかってもらっている協力者（ブレン）が必要であり、重要である
- 4) 特注品を製作する理由  
世の中には多くのプロダクトがあるが、プロジェクトの中でそのまま使えるものは少ない。自分のイメージに「似た」ものはあるが、「イメージ通り」のものを求めると特注製作が必要となる。以上、講演終了後、同レストランにて引き続き食事会が開催さ橋本氏を含む正会員、準会員、賛助会員、ビジター全員が、美味しい和牛、韓国料理をいただきながら、交流、親睦を深めました。

株式会社ワイス・ワイス  
佐藤岳利

■ 3分間のタイムスリップ

トーマス・シラトン様式（1751～1806）

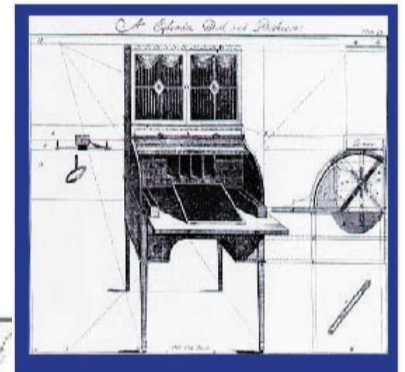
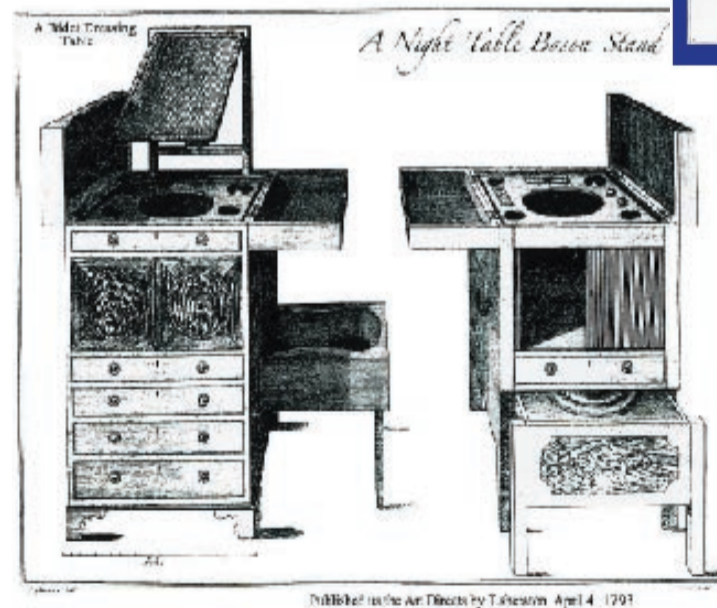
非常に有能な製図家であり優れた図集（Cabinet-Maker and Upholsterer's Drawing Book）を3部作で発表している、当時の職人達にも重要視され、ほとんどが忠実に再現されています。このためこの時期の上等な家具は“シラトン様式”として有名です。また、1807年に家具と装飾に使用されたすべての語句をアルファベット順に解説した「キャビネット・ディクショナリー」を発表しており高級家具から一般家具まで影響をあたえています。くわしくは次回に譲るとして、今回はすこし下世話になりますが面白い家具を紹介したいと思います。右の図はなんだと思いますか、簡易トイレなのです。

Other furniture for the toilet includes such pieces as the bidet dressing table And night-table bason-stand (designs by Sheraton far left) and the shaving table

水洗トイレの特許は1775年でしたが1778年のジョセフ・ブラマーが、バルブとサイフォン機能を具えた水洗便所の基礎となる発明をし、これが現在使用されている元祖のようです、が、トイレは完成しても下水のほうの普及ができていなかった。当時の民家にトイレがあるのは例外的であり、寝室に尿瓶をおき

杯になると窓から道路に捨てるのが当たり前であったようです。（ローマと似ていますね）下のシラトンの1793年の図版にも簡易トイレの製図があります。左上にはBidet 化粧テーブルで、右上にはナイト・テーブルと書かれています。

[簡易トイレ]



（図 [Cabinet-Maker and Upholsterer's Drawing Book] より）

このような家具を Night table と呼んでいました。もう少し大きいものになりますと、Commode と呼んでいたよ、フランスの高級筆筒を指すコモードは“コ”にアクセントがあり、イギリスのこちらは“モード”にアクセントをつけたようです。



[Night table]



## ■ 知って知らない道具作り

特注家具を収めたお宅が、代々の刀鍛冶の家系でした。そちらのおかみさんから刀の作り方など詳しくお話を聞くことができました。日本刀の材料は主に玉鋼(たまはがね)だと言われます。これに卸し鉄と言って別の鋼を刀に適した炭素量に加工したものを混ぜて造ります。“みずへし”鋼を熱して薄く打ち延ばしていく作業で、玉鋼を高温で熱しいきなり強く打つとバラバラになってしまいますので、低温で熱し軽く打って鋼がなじんできた頃に温度を上げ、強く打っていきますが、これが経験と勘を必要とします。5mmくらいに打ち延ばしたら水に入れて急冷します。炭素量の多い部分はこの時自然に砕けて落ちます。砕け落ちなかった部分は次の作業に回します。“こわり”水減した鋼を細かく2.3cmに割っていきます。炭素量の適当な部分はすぐ割れますが、炭素量の少ない粘りのある部分は割れないので、皮鉄には向かないので芯鉄など用に回します。“積み重ね”小割りにした鋼をテコ台の上にきちんと2?3kg積み重ねます。こうすることで熱が満遍なく伝わるのです。この積み重ねた鋼を水で濡らした和紙(高野紙)で包み、ワラ灰をまぶし、泥汁を満遍なくかけ、

火床(赤松の炭)へ入れます。和紙でくるむのは積んだ鋼を崩さないように、泥汁をかけるのは芯まで沸かすため、ワラ灰は鋼と空気を遮断して、鋼が燃えないようにするのに使います。玉鋼の段階では完全に精錬されておらず、沸かしから鍛錬を経て精錬されていくので、この沸かしは重要です。叩いて鋼を固めていくのですが粘着性が出てきた鋼は満身の力でしかも素早く叩き固めねばなりません。“錬”の目的は、鋼を鍛えて不純物を叩き出し、炭素量を平均化させることです。刀匠だけでは出来ないで2、3人の弟子とともに打ち叩いていきます。刀匠が小槌でコンコンの合図に、弟子達が叩いていきます。合図に従って打つことを「相槌を打つ」といいます。この相槌がとても重要で誰でも出来るというものではありません。折り返し鍛錬の際、折り返した鋼がくっつかずに空気が入ると、破れて傷になります。10~15回繰り返します。10回折り返すと1000枚もの層になるのです。これが強靱さの秘密です。“すのべ”刀の形に打ち延ばしていく行程です。熱して長く延ばしていき刀の形を作ります。刃に焼きを入れる作業に入ります。焼き入れする場

合、刀身に「焼刃土(やきばつち)」を塗ります。耐久性のある粘土に木炭の粉や砥石の粉などを混ぜて作ります。無事焼き入れが終わり、反りや曲がりを修正した後、刀匠自らが行う研ぎのことを鍛冶研ぎと言います。最終的には専門の研ぎ師によって研がれるのですが、基本的な研ぎは刀匠が責任を持ってします。その磨きは刀に絹の包帯をかけ刀身を竹のへらで挟み、磨くところだけ包帯をはがし地つや(刃の反対側)ははがねの針を使い磨きます。刃つやは、とのこにベンガラをまぜて刃を磨きます。最後に砥石をうすくすくして親指大にし、それを漆で吉野紙に貼り付け、親指でこすりながら仕上げます。テレビで刀に打ち粉をするシーンを見かけますが、この打ち粉の袋は、モミの布に吉野紙を3枚重ねその中に打ち粉を入れ、てるてる坊主よろしく丸く絞り、尾の方は紫の糸でくるくる巻いて棒にします。(モミの布とは紅花を揉んで染めた絹の布)懐紙で刀をぬぐうのも目にしますが、この紙は奉書で石灰の入っていない物を使います。



## ■ 途中下車

激流!、現代と云う時の流れを例えるならこの言葉が当てはまるでしょう。全てを巻き込みながら、見えない時空に吸い込まれていくような錯覚をしているのは私だけではない筈だ。今回の途中下車の会社は、一昔前までは“コンチュウ”さんと親しんで呼んでいましたが、あるとき気がつけば“セルコン”とよばれ、気がつ

けば“セルコテクノス”になっていた。名前だけ聞いてなにやさん と言ってしまった。京都議定書が今年の2月に発効されました。京都議定書は1997年12月に採択され、2008年から1012年までの間に、温室効果ガスの排出量を先進国全体で少なくとも5%削減(1990年比)することが目標とされています。しかし、もはや、それでは間に合わず12%も削減しないと温暖化は食い止めることができないところまで来ています。この問題に少しでも参加できればと取り組み始めたところ、一昨年、廃床材リサイクル環境システム「e-RECYCLED」を発表し、エコマーク認定取得。この会社の環境方針は、全ての生物にとってかけがえのない財産である地球の環境を守り、これを未来に引き継ぐために、あらゆる活動において環境に配慮し、自主的かつ継続的に環境保全活動に取り組みます。と、言うは易く行う

は難し、だが、この会社やってくれました。廃床材のメーカーを限定せずあらゆるメーカー品を回収、再生可能品を特殊機能により「リファインバック」として再生し、eリサイクルの確立による商品化の第一歩としてタイルカーペットのパッキング材に廃床材を総重量の51%以上使用に成功。省エネルギーや省資源、廃棄物の削減などの環境保全の活動を周知徹底し、理解と意識の向上に努めるとともに、一般にこれを公開し理解と賛同を得るべく取り組んでおられます。これらエコマーク商品のハイテクポイント・エコシリーズとして商品化して、お客さまのクリーン購入のお手伝いをしたいと取り組んでおられます。紙面の関係で会社の骨格のみになってしまいましたが、私たち一人一人の意識がエコに対してシビアにならないと、映画「ディー・アフター・トゥモロー」の世界になるかもしれません。



## ■ 新入会者

新会員紹介  
賛助会員  
○3月14日入会  
フォルボ・フロアリング ジャパン  
代表者 エリック デグルート  
担当者 日野敦子  
TEL03-5740-2790  
FAX03-5740-2791  
○1月13日入会  
ソルーシア・ジャパン  
担当者 河原 伸自

TEL03-3523-2082  
FAX03-3523-2070  
○12月2日入会  
インターカルチャーアート  
代表者 ハヤシ ジャン  
TEL03-3207-3911  
FAX03-3207-3912  
準会員  
○涌井 広幸(1月18日)  
○高塚 忠弘  
正会員  
○坂倉 英明  
○荒井 資郎

## ■ 編集後記

途中下車の項目に載せたいと思われる法人会員さん!メール下さい、取材に伺います。個人的なことで恐縮ですがエコに取り組みはじめて、自宅から始めようとIHクッキングヒーターを導入しました。鍋が黒くならないのがいいですね、今までは鍋を洗うのは私でしたから・・・。

情報委員 井上常雄  
mail: news@jipat.gr.jp